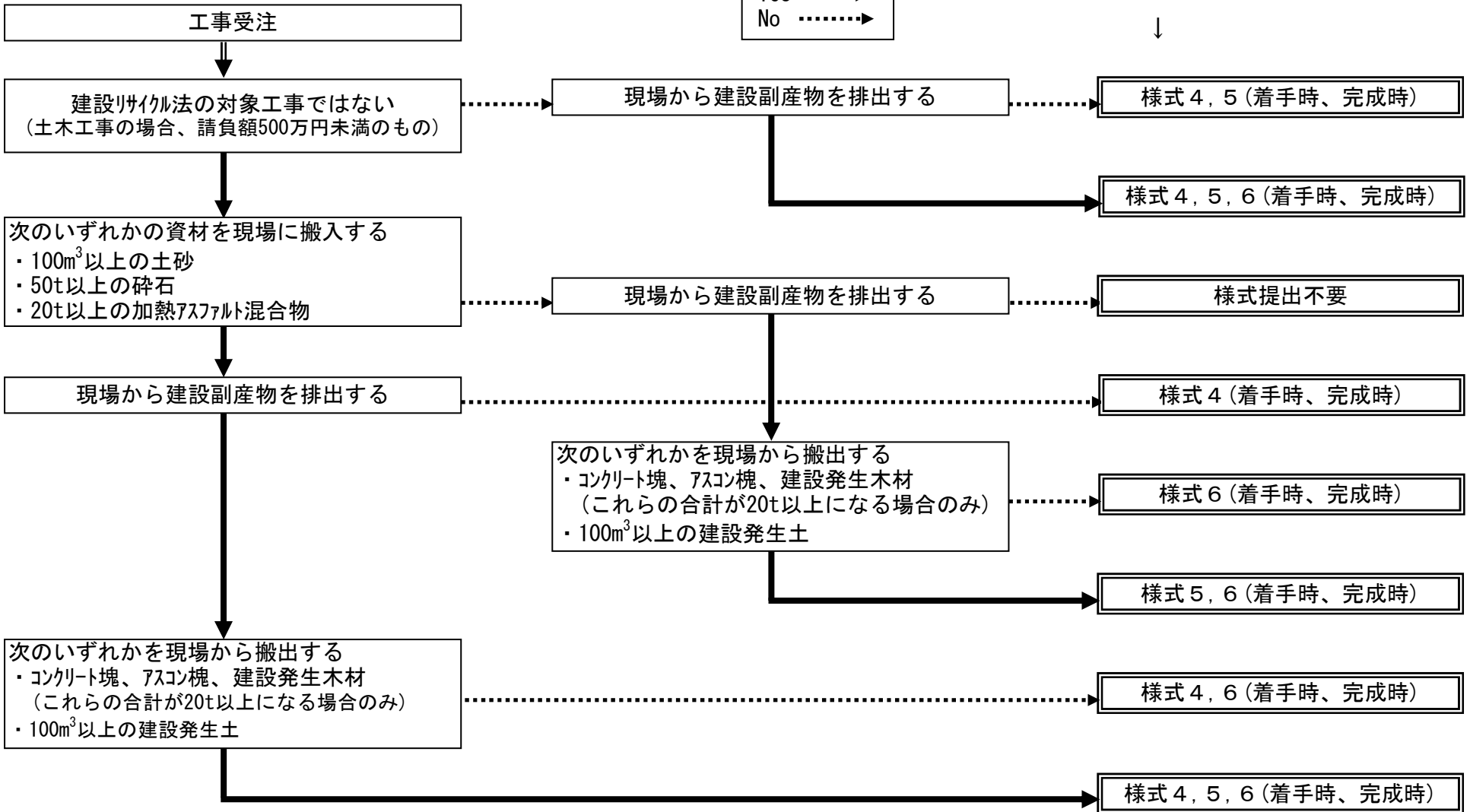


再生資源利用計画書等提出フロー



Yes →
No→

提出様式 (茨城県建設リサイクルガイドライン)

注) 様式 4 : CREDASでは様式 1
様式 5 : CREDASでは様式 2

様式2 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

灰色の部分は、記入する必要がありません。

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率 (②+③+⑤) / (①) (%)	
		用途コード*10	②利用量 小数点第一位まで	減量法コード*11	③減量化量 小数点第一位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所* 住所コード*4 千 百 十 一 番 番 番 番 搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量 小数点第一位まで	うち現場内改良分 小数点第一位まで	⑤再生資源利用促進量 (注2)				
資材廃棄物	コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間				km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間				km	トン	トン	トン	%	
建設廃棄物	その他がれき類	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間				km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	kg				搬出先1	公共 民間				km	kg		kg	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1	公共 民間				km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³								地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は表11参照のこと)
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.その他の処分

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)
7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨場・残土処分場)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類(コード*13)が
【建設廃棄物の場合】
1~6の合計
【建設発生土の場合】
1~6の合計

建設廃棄物処理（計画・実績）書

平成 年 月 日作成

工 事 件 名				発注者名			
工 事 場 所			請負金額			請負者名	
工 期	平成 年 月 日～平成 年 月 日		工 種	土木・建築・設備（ ）		廃棄物管理責任者	電話
工事概要						

建設廃棄物の種類 注①	発生量 t	現 場 内 利 用 量 t	売 却 量 t	現 場 外 搬 出 量 t	収集・運搬業者	処分 方法 注②	中間処理(再資源化施設を含む)			最 終 処 分		
							中間処理量 t	中間処理業者	所在地 注③	最終処分量 t	最終処分業者	所在地 注③

<別表1>

建設廃棄物の種類	備 考
①コンクリート塊	コンクリートの破片、コンクリートブロック
②アスファルト塊	アスファルトコンクリートの破片
③建設発生木材	工作物の新築・改築・除去に伴うもの
④紙くず	工作物の新築・改築・除去に伴うもの
⑤繊維くず	工作物の新築・改築・除去に伴うもの(量、ウェス等)
⑥建設泥土	廃棄物処理法で「汚泥」に相当するもの。
⑦廃プラスチック類	廃合成樹脂建材・廃発砲スチロール(梱包材等)
⑧金属くず	鉄骨鉄筋くず・廃缶類
⑨ガラス・陶磁器くず	ガラスくず・タイル衛生陶磁器くず等
⑩その他の産業廃棄物	廃油等
⑪建設混合廃棄物 ※	安定型産業廃棄物(がれき類、廃プラスチック類、金属くず等)と管理型
⑫一般廃棄物	厨芥類 産業廃棄物(木くず、紙くず等)の混ざったもの
⑬アスベスト	特別管理産業廃棄物

※ ⑪建設混合廃棄物は、種類別に按分が困難な場合のみ使用すること。

<別表2>

建設廃棄物(重量/容積)換算表	
建設廃棄物の種類	換算係数 (t/m ³)
①コンクリート塊	2.35
②アスファルト塊	2.35
③建設発生木材	0.4~0.7
④建設泥土	1.2~1.6
⑤廃プラスチック類	0.1~0.3
⑥金属くず	1.4~2.0
⑦ガラス・陶磁器くず	1.5
⑧建設混合廃棄物	0.31

◎ その他の廃棄物については、換算係数を1.0t/m³で計算すること。

<別表3>

処 分 方 法	
中 間 処 理	①脱 水
	②乾 燥
	③焼 却
	④破 碎
	⑤選 別
※⑥その他	
最 終 処 分	⑦埋 立
	※⑧その他

※ ⑥⑧のその他は、具体的に記載すること。

【記載注意事項】

- 注① 建設廃棄物の種類は、別表1から選択
- 注② 処分方法は、別表3から選択
- 注③ 所在地は、処理・処分施設のある市町村名を記載
(ただし、県外搬出は、県名も記載)